

2021 年度 (2021年1月～2021年12月) 環境経営レポート



対象期間： 2021 年 1 月 ～

2021 年 12 月

発行年月日： 2022 年 3 月 29 日 (Ver. 9)



株式 会社 鈴 健

目 次

- 1 環境経営方針
- 2 事業概要, 認証・登録範囲
- 3 実施体制
- 4 環境経営目標
- 5 環境経営計画
- 6 環境経営目標の実績
- 7 環境経営計画の取組結果とその評価,
次年度の取組内容
- 8 環境関連法規等の遵守状況の確認
及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
- 9 代表者による全体評価と見直しの結果

1 環境経営方針

【環境基本理念】

株式会社鈴健は1950年に広大な胆沢平野の南端に位置する奥州市前沢に創業し、以来土木工事を中心とする建設業を営んで参りました。

自分たちが生まれ育ったこの地を、環境の良い緑豊かな地域として次の世代、その次の世代へと残していくことが私たちの責務と考えております。

そのために、既に取り組んでいる環境活動を、より積極的に進めて行くことを基本理念とし取り組んでいくことを誓約いたします。

【環境保全への行動指針】

- ①事業活動による環境負荷の低減
 - ・ 二酸化炭素の削減
 - ・ 廃棄物の削減・リサイクルの推進
 - ・ 水の使用量の削減
- ②事業活動による環境への配慮
 - ・ 希少動植物の保護の推進
 - ・ 低騒音・低排出ガス仕様の機械、環境配慮型機械の使用
- ③地域活動・環境保全活動への積極的な参加
- ④環境経営システムを構築し、環境経営目標・環境経営活動計画を定め、継続的な改善を行う
- ⑤事業活動に関連する法・規則の遵守

制定日： 平成 25 年 9 月 24 日

改定日： 令和 3 年 4 月 23 日（第1回）

改定日： 令和 4 年 2 月 24 日（第2回）

株式会社 鈴 健
代表取締役 鈴木 伸孝

2 事業概要、認証・登録範囲

1 事業者名及び代表者名

株式会社 鈴木 健 代表取締役 鈴木 伸孝

2 所在地

本社 岩手県奥州市前沢字南前沢30

TEL:0197-56-5112 FAX:0197-56-5113

倉庫・詰所：岩手県奥州市前沢字南前沢30(本社と同一敷地内)

資材置場： 駒水資材置場 岩手県奥州市前沢字駒水547-1

資材置場： 六本松資材置場 岩手県奥州市前沢字六本松28-5

3 環境管理責任者名及び連絡先

環境管理責任者名 伊藤千純

連絡先 TEL:FAX 本社所在地と同じ

e-mail:suzu-ken@deluxe.ocn.ne.jp

4 事業内容

土木工事、建築工事、法面工事、ほ装工事

5 許可番号

特定建設業 岩手県知事許可 (特-2) 第6339号 土木工事業 ほ装工事業

一般建設業 岩手県知事許可 (般-2) 第6339号 建築工事業 とび・土工工事業

一般建設業 岩手県知事許可 (般-1) 第6339号 解体工事業

6 事業規模

資本金 2,020 万円

	平成31年度(令和元年) H31.1~R1.12	令和2年度 R2.1~R2.12	令和3年度 R3.1~R3.12
完成工事高(千円)	354,000	241,200	468,860
受注件数(件)	43	49	40
従業員数(名)	16	15	15
本社延床面積	240.63m ²	240.63m ²	240.63m ²

7 認証・登録範囲

全社・全組織・全事業活動が認証・登録範囲

8 事業経歴、営業範囲

【事業経歴】

昭和25年 4月 創業

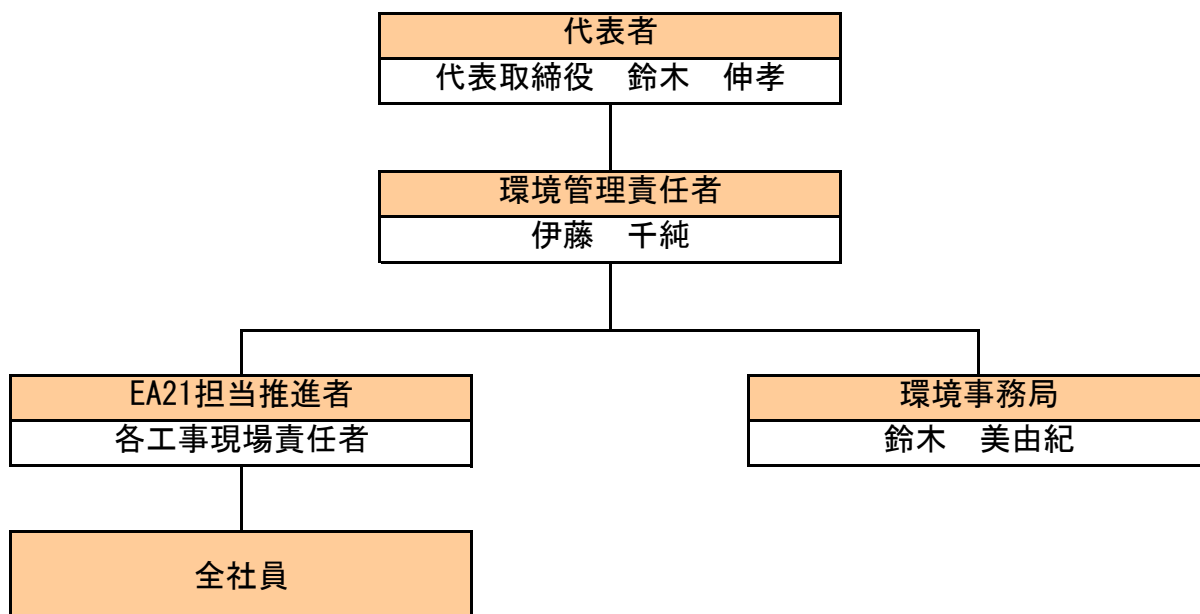
昭和59年 1月 法人に組織変更

【営業範囲】

岩手県内

3 実施体制

1 組織図



代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営に関する統括責任 ・ 環境管理責任者の任命 ・ 環境管理責任者から報告を受け全体の評価と見直し ・ 環境方針を定め社員に周知する。 ・ 環境経営上の課題とチャンスを確認にし、環境経営方針と環境経営目標に反映させる。 ・ 環境経営の取組に対する資源を用意する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営システムの構築・運営・管理 ・ 取組結果を代表者へ報告する ・ データの取りまとめ、環境レポートの作成
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境管理責任者の補佐 ・ 外部コミュニケーションの窓口 ・ データの収集、集計
EA21担当推進者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 省資源、省エネ、節水を推奨・実施 ・ エコアクション21目標達成への取組の推進 ・ エコアクション21取組に関する教育訓練の実施 ・ 苦情への対策・予防処置
全社員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚し、取組に積極的に参加する ・ 省資源、省エネ、節水に努める

制定日： 平成 25 年 9 月 24 日

改定日： 令和 3 年 6 月 25 日（第1回）

4 環境経営目標

1 環境経営目標

平成29年度～平成31年度までの取組み結果をもとに、次表のように2020年度から3年間の中期環境目標を設定しました。

環境への負荷 項目			基準年 (平成31年度)	中期目標		
				2020年度 目標	2021年度 目標	2022年度 目標
温室効果ガス 排出量	購入電力による 二酸化炭素排出量 (事務所)		Kg-CO2 5,273.66	5,273.66 — (維持)	5,273.66 — (維持)	5,273.66 — (維持)
	購入電力による 二酸化炭素排出量 (工事現場)		Kg-CO2 16,295.14	使用量の把握のみ	使用量の把握のみ	使用量の把握のみ
	化石燃料 による二酸化炭素排出量		Kg-CO2 91,242.88	90,330.45 -1.0%	89,427.14 -1.0%	88,532.87 -1.0%
廃棄物排出量	一般廃棄物		t 0.93	0.92 -1.0%	0.91 -1.0%	0.90 -1.0%
	産業廃棄物		t 486.26	適正処理の確認 再生率95%以上	適正処理の確認 再生率95%以上	適正処理の確認 再生率95%以上
水使用量			m3 86.00	85.14 -1.0%	85.14 — (維持)	85.14 — (維持)
エネルギー使用 量	購入電力(事務所)		kwh 9,988.00	9,988.00 — (維持)	9,988.00 — (維持)	9,988.00 — (維持)
	購入電力(工事現場)		kwh 30,862.00	使用量の把握のみ	使用量の把握のみ	使用量の把握のみ
	化石燃料	灯油	ℓ 3,337.00	3,303.63 -1.0%	3,270.59 -1.0%	3,237.89 -1.0%
		ガソリン	ℓ 3,894.38	3,855.44 -1.0%	3,816.88 -1.0%	3,778.71 -1.0%
		軽油	ℓ 28,642.94	28,356.51 -1.0%	28,072.95 -1.0%	27,792.22 -1.0%
環境配慮工事	環境クレーム0(ゼロ)		件 —	—	0	—
社員教育	EA21取組教育		回/年 2	2	2	2
地域貢献活動	ボランティア等への参加回数		回/年 4	4	4	4

・購入電力の二酸化炭素排出係数を更新しました。(2018年度調整後排出係数0.528kg-CO₂ /kWh)

・化石燃料の排出係数は灯油2.49kg-CO₂/ℓ,ガソリン2.32kg-CO₂/ℓ,軽油2.58kg-CO₂/ℓ
(2017年版ガイドラインの取りまとめ表で集計した数値)

・工事現場の購入電力契約は日単位での契約が多く使用量の把握が難しいため、従量での契約分の使用量の把握のみとします

・化石燃料は事務所・現場事務所・現場使用量の合計。

・水使用量は限界値に近づいているため2021年度以降は維持管理としました。

5 環境経営活動計画

1 環境目標達成の為に具体的な環境活動計画を下記の通り設定し、従業員が一丸となって取り組みます。

環境目標	実施項目
電気使用量の削減	・ 冷・暖房の設定温度の適正化 暖房設定温度20℃(小型ファンヒーター)(ブルーヒーターは12℃又は火力最小) 冷房設定温度28℃ 暖房機器使用時、室温22℃になったらファンヒーターを切りペレットストーブのみ使用 冷房の使用は室温28℃を基準とし、扇風機等を併用
	・ 冬期間の窓等の目張り、隙間テープ等の設置
	・ 水道管等の凍結防止ヒーターの使用は12月～3月までとし、それ以外はコンセントを抜く
	・ 不使用時・退室時消灯の徹底
	・ OA機器未使用時・外出時の電源OFFの徹底、帰宅時はコンセントを抜く
	・ ウォームビズ・クールビズの推進
	・ 照明機器の清掃
	・ エアコンのフィルター清掃
ガソリン・軽油使用量の削減	・ アイドリングストップ
	・ 急発進・急加速・急ブレーキの防止
	・ 重機・車両点検・整備
	・ 作業内容に合わせた適正機械の使用
	・ 低騒音・低排出ガス仕様機械の使用・環境配慮型機械の使用(発電機等)
	・ 乗合等で最低限での車両使用に努める(現場移動)
・ 必要の無い道具、資材等はその都度降ろし、整理整頓	
灯油使用量の削減	・ 暖房設定温度の適正化
	・ ウォームビズの推進
	・ 給湯器の適正使用(温度・使用時間)
一般廃棄物排出量の削減	・ 廃棄物の分別・リサイクル
	・ ミスプリント・ミスコピーの防止
	・ 両面印刷・コピーの実施
	・ 裏紙の再利用(メモ帳等)
	・ コピー用紙のリサイクル
産業廃棄物の管理	・ マニフェストによる適正管理
	・ なるべく再資源化施設へ処理を委託する
	・ 分別解体の実施
水使用量の削減	・ 節水表示等で節水を呼びかけ
	・ 漏水のチェック
	・ 舗装工事等に使用する水はなるべく用水路等の水を使用する
社員教育	・ エコアクション21取得に向けての取組教育
緊急事態対応訓練	・ 緊急事態対応訓練
地域貢献活動	・ 清掃活動・環境保全活動への参加

5 環境経営活動計画

2 2020年度以降の中・長期又は不定期の環境活動計画は下記の通りです。
各実施時期に各実施項目を検討し実施します。

環境目標	実施項目	実施時期	備考
電気使用量の削減	省エネルギー型への買換え	家電・複合機・プリンター等の買い替え時	
電気使用量の削減	LED照明への変更 (平成29年10月に一部実施済)	蛍光灯の交換時 照明の修理時	
軽油使用量の削減	ハイブリッド車や低燃費車への買換え	車両の買換え時	
軽油使用量の削減	省エネルギー型への買換え	重機の買換え時	

6 環境経営目標の実績

1 環境経営目標の達成状況

2020年度～2022年度までの実績について評価結果を報告いたします。

内が今期(2021年度)実績です。

環境への負荷 項目				基準 (平成31年 度)	中期取組期間(2020年～2022年)						今期 達成 状況	
					2020年度		2021年度		2022年度			
温室効果ガス 排出量	購入電力による 二酸化炭素排出 量 (事務所)	Kg-CO2	5,273.66	目標	5,273.66	維持	5,273.66	維持	5,273.66	維持	○	
				実績	4,974.82	-5.67%	4,264.13	-19.14%		-100.00%		
	購入電力による 二酸化炭素排出 量 (工事現場)	Kg-CO2	—	目標	—	—	—	—	—	—	—	
	化石燃料 による二酸化炭 素排出量	Kg-CO2	91,242.88	目標	90,330.45	-1.00%	89,427.14	-1.00%	88,532.87	-1.00%	×	
				実績	136,106.08	50.68%	119,375.08	33.49%		-100.00%		
廃棄物 排出量	一般廃棄物	t	0.93	目標	0.92	-1.00%	0.91	-1.00%	0.90	-1.00%	×	
				実績	0.94	2.10%	1.12	22.88%		-100.00%		
	産業廃棄物	t	486.26	実績	1,389.28		1,452.72				○	
再生率				99.58%	目標	再生率95%以上		再生率95%以上		再生率95%以上		
水使用量	m3	86.00	目標	85.14	-1.00%	85.14	維持	85.14	維持	×		
			実績	73.00	-14.26%	96.00	12.76%		-100.00%			
エネルギー使用 量	購入電力(事務 所)	kwh	9,988.00	目標	9,988.00	維持	9,988.00	維持	9,988.00	維持	○	
				実績	9,422.00	-5.67%	8,076.00	-19.14%		-100.00%		
	購入電力(工事現 場)	kwh	—	目標	—	—	—	—	—	—	—	
				実績	4,016.00	—	3,345.00	—		—		
	化石燃料	灯油	ℓ	3,337.00	目標	3,303.63	-1.00%	3,270.59	-1.00%	3,237.89	-1.00%	×
					実績	2,548.02	-22.87%	3,540.00	8.24%		-100.00%	
ガソリン		ℓ	3,894.38	目標	3,855.44	-1.00%	3,816.88	-1.00%	3,778.71	-1.00%	×	
				実績	3,746.27	-2.83%	4,034.14	5.69%		-100.00%		
軽油	ℓ	28,642.94	目標	28,356.51	-1.00%	28,072.95	-1.00%	27,792.22	-1.00%	×		
			実績	46,926.42	65.49%	39,225.30	39.73%		-100.00%			
環境配慮 工事	環境クレーム0(ゼロ)			目標	—		0		—		○	
				実績	—		0		—			
社員教育	EA21取組教 育	回/年	2	目標	2		2		2		○	
				実績	2		2		2			
地域貢 献活動	ボランティ ア等への参 加回数	回/年	7	目標	4		4		4		○	
				実績	10		5		5			

○→目標達成

×→未達成

赤文字→実績量

青文字→実績率

購入電力の二酸化炭素排出係数 : 東北電力の実排出係数0.528kg-CO2/kwh(2018年度)

化石燃料のCO2排出量は2017年版ガイドラインの取りまとめ表で集計した数値

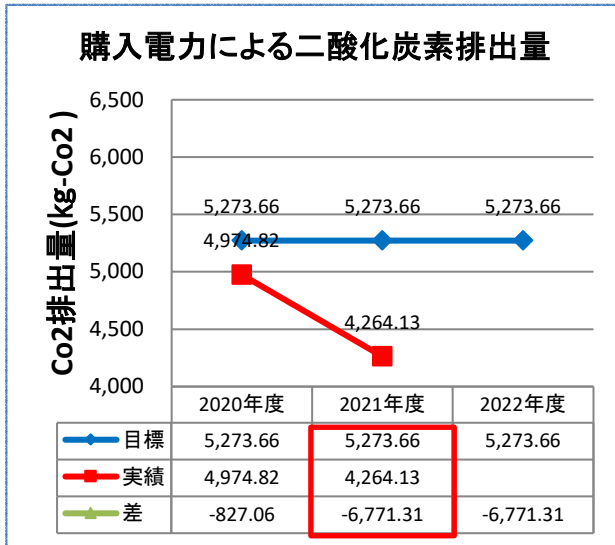
2 評価

【総評】

公共工事の受注増加や雪の影響などもあり、軽油の使用量が増加しごみの排出量も増加してしまいましたが、削減やりサイクルの行動計画は守られていたように思う。
また、漏水があった為水の使用量も増加してしまいましたがすぐに対処出来ており、問題はなかったと思う。

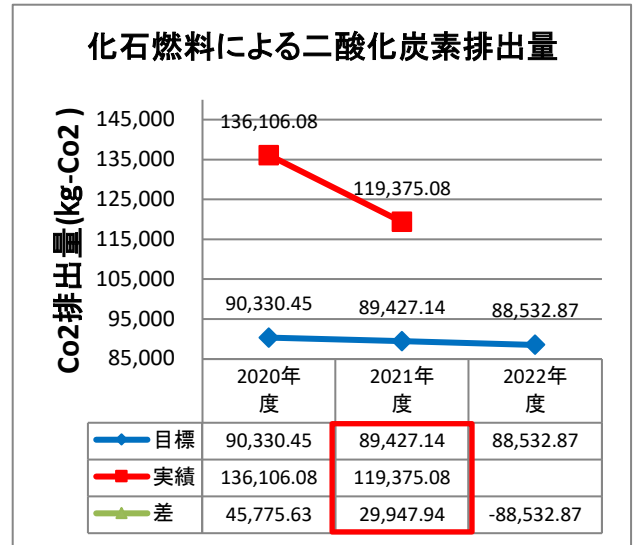
2 評価

温室効果ガス排出量の削減について】【エネルギー使用量の削減について】



【電気】

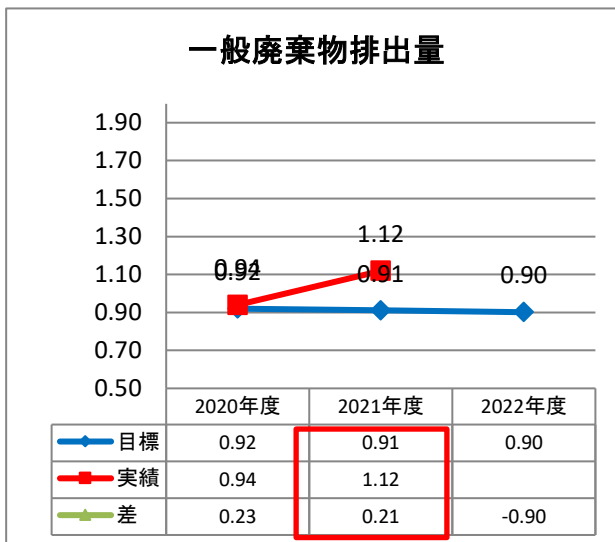
事務所での作業人数が少なかったことが電気の使用量が減った大きな要因だと思うが、室温の管理等もよくできていたと思う



【化石燃料】

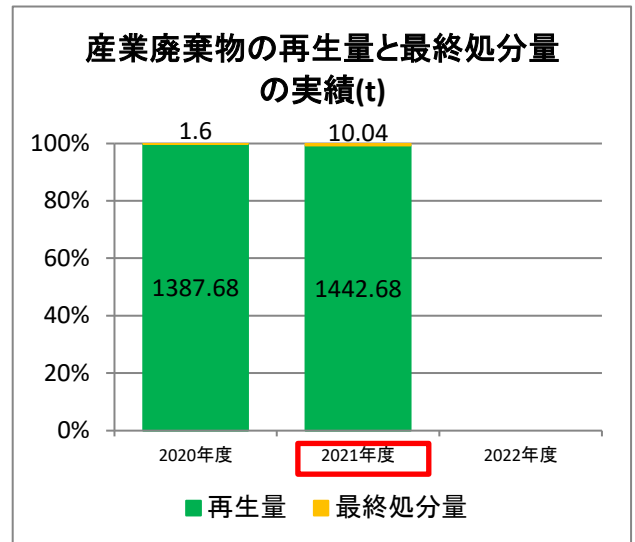
雪の影響で例年よりも工期が延びた事や、工事の受注が例年より早かったことで使用量が増加してしまった。出来る限りの削減は呼び掛けている。

【廃棄物排出量の削減について】



【一般廃棄物】

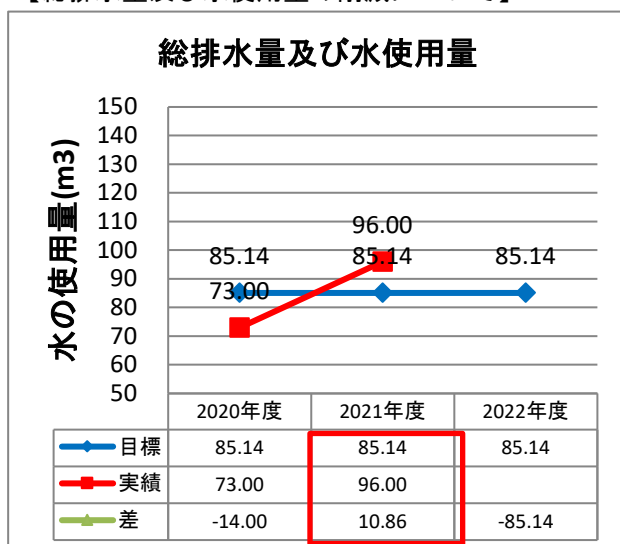
一般ごみの排出量が増えてしまったが、工事量の増加によるものと思う。コピー用紙や段ボールのリサイクルは出来ていると思う。



【産業廃棄物】

廃石膏ボードと廃プラスチックは埋立て処分の為再生は出来ていないが、そのほかの廃棄物に関してはリサイクル処理されている。

【総排水量及び水使用量の削減について】



【水使用量】

2月の検針時に漏水が見つかり、漏水箇所はすぐに修繕したものの使用量は大きく増加してしまっ
た。
事務所での作業人数が少なかったことも関係する
が、月別に見ると目標数値をほぼ達成しており、
使用に問題はなかったと思う。

【グリーン購入について】

- ・ 目標値の設定は無くなったが、主に事務用品のグリーン購入を継続している。

【社員教育について】

- ・ 一般教育を6月と10月に実施し、EA21の取組等の説明を行った。また、資料は事務所内と作業員詰所内に掲示をしている。
- また、昨年度の化石燃料の使用量が多かった為、簡単にはあるが社団法人日本建設業連合会の資料を使用して省燃費講習を実施した。

教育状況(6月)



教育状況(10月)



省燃費講習の様子

【緊急事態対応訓練について】

- ・ 今期も10月に火災対応訓練、R4. 1月に灯油流出対応訓練を実施した。

10月
火災対応
訓練



R4. 1月
灯油流出
対応訓練



【地域貢献活動について】

- ・ 河川清掃活動、道路清掃活動、建設業ふれあい事業等 今期も5件の地域貢献活動へ参加した。

北上川一斉
清掃活動へ
の参加状況



7 環境経営活動計画の取組結果とその評価、 次年度の取組内容

1 環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

○できた △あまりできなかった ×できなかった

環境目標	実施項目	達成状況	次年度の取組	取組結果と評価
電気使用量の削減	・冷・暖房の設定温度の適正化	○	継続	室温での冷暖房の管理等出来ていたと思う
	暖房設定温度20℃(小型ファンヒーター)(ブルーヒーターは12℃又は火力最小)	○	継続	
	冷房設定温度28℃	○	継続	
	暖房機器使用時、室温22℃になったらファンヒーターを切りペレットストーブのみ使用	○	継続	
	冷房の使用は室温28℃を基準とし、扇風機等を併用	○	継続	
	・冬期間の窓等の目張り、隙間テープ等の設置	○	継続	
	・水道管等の凍結防止ヒーターの使用は12月～3月までとし、それ以外はコンセントを抜く	○	継続	
	・不使用時・退室時消灯の徹底	○	継続	
	・OA機器未使用時・外出時の電源OFFの徹底、帰宅時はコンセントを抜く	○	継続	
	・ウォームビズ・クールビズの推進	○	継続	
	・照明機器の清掃	○	継続	
・エアコンのフィルター清掃	○	継続		
ガソリン量の削減 軽油使用	・アイドリングストップ	○	継続	工事量の増加によって目標値は達成できなかったが、取組に問題はなかったと思う
	・急発進・急加速・急ブレーキの防止	○	継続	
	・重機・車両点検・整備	○	継続	
	・作業内容に合わせた適正機械の使用	○	継続	
	・乗合等で最低限での車両使用に努める(現場移動)	○	継続	
	・必要の無い道具、資材等はその都度降ろし、整理整頓	○	継続	
量灯の油削減	・暖房設定温度の適正化	○	継続	出来ていたと思う
	・ウォームビズの推進	○	継続	
	・給湯器の適正使用(温度・使用時間)	○	継続	
一般廃棄物の削減	・廃棄物の分別・リサイクル	○	継続	コピー用紙等のリサイクルは徹底されている
	・ミスプリント・ミスコピーの防止	○	継続	
	・両面印刷・コピーの実施	○	継続	
	・裏紙の再利用(メモ帳等)	○	継続	
	・コピー用紙のリサイクル	○	継続	
物産の管理	・マニフェストによる適正管理	○	継続	適正処理が出来ている
	・なるべく再資源化施設へ処理を委託する	○	継続	
	・分別解体の実施	○	継続	
水使用量の削減	・節水表示等で節水を呼びかけ	○	継続	2月に漏水があったがすぐに対処できた
	・漏水のチェック	○	継続	
	・舗装工事等に使用する水はなるべく用水路等の水を使用する	○	継続	
環境配慮工事	・低騒音・低排出ガス仕様機械の使用・環境配慮型機械の使用(発電機等)	○	削除	行動指針の変更に伴い来期は削除する
	・各工事現場で希少動植物の保護に協力する	○	削除	
	・管理の基準値に社内目標値(80%～85%)を設定し、品質を保つ	○	削除	
社員教育	・エコアクション21取得に向けての取組教育	○	継続	年度開始時・中間
緊急事態対応	・緊急事態対応訓練	○	継続	灯油・火災各1回/年
地域貢献活動	・清掃活動・環境保全活動への参加	○	継続	年4回以上参加

2 次年度からの環境経営目標

環境経営方針の変更に伴い、2022年度より項目を追加します。(青文字部分)

環境への負荷 項目			基準年 (平成31年度)	中期目標			
				2020年度 目標	2021年度 目標	2022年度 目標	
温室効果ガス 排出量	購入電力による 二酸化炭素排出量 (事務所)		Kg-CO2	5,273.66	5,273.66 — (維持)	5,273.66 — (維持)	5,273.66 — (維持)
	購入電力による 二酸化炭素排出量 (工事現場)		Kg-CO2	16,295.14	使用量の把握のみ	使用量の把握のみ	使用量の把握のみ
	化石燃料 による二酸化炭素排出量		Kg-CO2	91,242.88	90,330.45 -1.0%	89,427.14 -1.0%	88,532.87 -1.0%
廃棄物排出量	一般廃棄物		t	0.93	0.92 -1.0%	0.91 -1.0%	0.90 -1.0%
	産業廃棄物		t	486.26	適正処理の確認 再生率95%以上	適正処理の確認 再生率95%以上	適正処理の確認 再生率95%以上
水使用量			m3	86.00	85.14 -1.0%	85.14 — (維持)	85.14 — (維持)
エネルギー使用 量	購入電力(事務所)		kwh	9,988.00	9,988.00 — (維持)	9,988.00 — (維持)	9,988.00 — (維持)
	購入電力(工事現場)		kwh	30,862.00	使用量の把握のみ	使用量の把握のみ	使用量の把握のみ
	化石燃料	灯油	ℓ	3,337.00	3,303.63 -1.0%	3,270.59 -1.0%	3,237.89 -1.0%
		ガソリン	ℓ	3,894.38	3,855.44 -1.0%	3,816.88 -1.0%	3,778.71 -1.0%
軽油		ℓ	28,642.94	28,356.51 -1.0%	28,072.95 -1.0%	27,792.22 -1.0%	
環境配慮工事	環境クレーム0(ゼロ)		件	—	—	0	—
社員教育	EA21取組教育		回/年	2	2	2	2
地域貢献活動	ボランティア等への参加回数		回/年	4	4	4	4

・購入電力の二酸化炭素排出係数を更新しました。(2018年度調整後排出係数0.528kg-CO2 /kWh)

・化石燃料の排出係数は灯油2.49kg-CO2/ℓ,ガソリン2.32kg-CO2/ℓ,軽油2.58kg-CO2/ℓ
(2017年版ガイドラインの取りまとめ表で集計した数値)

・工事現場の購入電力契約は日単位での契約が多く使用量の把握が難しいため、従量での契約分の使用量の把握のみとします

・化石燃料は事務所・現場事務所・現場使用量の合計。

・水使用量は限界値に近づいているため2021年度以降は維持管理としました。

8 環境関連法規等の順守状況の確認 及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1 当社に適用となる主な環境関連法規とその遵守状況

当社が法的義務を受ける環境関連法規の遵守状況は、2022年3月に関連法規一覧にまとめ確認した結果、違反はありませんでした。

2 関係当局、及び地域からの違反、苦情等

環境関連法規等への違反、訴訟等は、ありませんでした。

また、関係当局、及び地域からの指摘や苦情はありませんでした。

9 代表者による全体の評価と見直しの結果

1 全体評価

環境活動への取り組みは今後も継続して行う事はもとより、社員各自の環境意識を高める事で、より一層の環境負荷軽減をすすめるよう徹底を図っていききたい。

2 見直し結果

環境経営方針について

評価	環境基本理念及び環境保全への行動指針は見直しの通り、今後も維持していくものとする。
改善・指示	行動指針の変更。（環境クレーム0（ゼロ）を目指すを削除）

環境経営目標・環境経営活動計画

評価	ICT活用を拡充することによる品質の向上、施工ロス低減による省エネルギー、人員不足対策とそれによって得られる施工評価やコストの削減等を施工担当者と話し合い共通認識としていく。 行動指針の変更に伴い目標値も変更となるため、自社だけでなく下請業者等にも周知をさせる。
改善・指示	数値目標として環境クレーム0（ゼロ）の削除

実施体制

評価	6月の見直しの通りこのまま継続
改善・指示	6月見直しの通り（担当者、役割の見直し）

その他

評価	特になし
改善・指示	変更なし